

## 迎春

ぺったんぺったん おいしい餅にな〜れ!  
〜ふれあいフェスティバル〜

12月1日(土)、ふれあいフェスティバルが開催され、その中で「父ちゃんの楽校」の生徒と子どもたちによる餅つきが行われました。「おいしい餅になるように」との願いを込めて一生懸命ついた餅は、きな粉をつけて参加者に振る舞われました。今年も皆様にとって“福持ち”の年でありますように…。

# ありがとうございます

## 社会福祉協議会は地域の皆様に支えられています

### ～ 善意のご紹介 ～

多くの皆様より本会に対して、多額の寄付や寄贈品をお寄せいただき、また施設等への慰問活動などご協力いただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

この「社協だより」で毎号、「善意」のコーナーにてご紹介させていただいておりますが、紙面の都合によりお名前のみとなっております、大変申し訳なく思っております。今号の「社協だより」では、一部の皆様となりますが、感謝の気持ちも込めてご紹介させていただきます。



今回貸与された福祉車両(上)とエアーマット一式(下)

今回貸与された福祉車両はミニデイサービスの送迎車として、エアーマットと空気清浄機は施設ご利用者に快適に過ごしていただくために活用させていただきます。

台と空気清浄機九台を貸与いただきました。この事業は、旧平鹿町出身の栗原保様が、「ふるさとの高齢者福祉の充実」を願い、昨年七月に市へ「ふるさと納税」の寄付をされ、本会のほか平鹿地域内の施設に福祉車両等が貸与されたものです。

栗原様は、地元の高校を卒業後、県外の建設会社に勤務され、数多くの工事を手掛けられるかわら、社会貢献事業にも積極的に活動されています。



本会会長と握手を交わす栗原保様(中央)と奥様(左)

横手市から「ふるさと応援基金活用事業」として、本会の平鹿福祉センターに福祉車両一台と平寿苑にエアーマット十一

栗原 保様 (東京都/旧平鹿町出身)

十一月十九日(月)、秋田県医薬品配置協会様より平寿苑に対して車いす二台の寄贈がありました。

協会では、従業員のモラル・質や保健衛生の向上に向けた活動のほか、社会福祉事業への協力を行っており、一〇年程前から県内各地の福祉施設に車いすを寄贈されておられます。今回その一環として本会の施設にご寄贈いただいたものですが、県南地区への寄贈は初めてとのことでした。

「地域への感謝の気持ちとして地域に密着した活動を行っていきたい」とのこと、協会では今後車いすの活動を続けられます。

今回いただいた車いすは、施設ご利用者の移動介助等に活用させていただきます。



ご利用者と一緒にご利用者と一緒に 秋田県医薬品配置協会様 (後列右から4名)

秋田県医薬品配置協会様

鈴木典男様からは、平成十九年から毎年、「社会福祉事業に活用してほしい」と多額のご寄付をいただいております。毎回、社会福祉大会にて感謝状を贈呈させていただいておりますが、長年にわたる善意に対して改めて感謝申し上げます。

鈴木典男様 (大森)

神原實様からは、毎月のように十文字福祉センターと憩寿園にお花をいただいております。ご利用者や来所された方を和ませてくれるこの花は、定年後からご自身が栽培されているもので、これまで様々な花を育てながら、病院等にも贈られ大変喜ばれています。

神原様は、「誰かのためにというわけではなく、自分の楽しみをおすそ分けしたいという気持ちで行っているからこそ、十数年にわたるお花のプレゼントを続けてこられた」とお話しくださいました。



色とりどりのお花を届けてくださる神原實様

神原 實様 (十文字)



# 保育園や幼稚園の園児、学校の児童・生徒からも たくさんの“善意”をいただいています。

(10月～11月分のみご紹介させていただきます)



## 憩寿園



十文字第二小学校の児童から、地域の方々と一緒に作った「もち米」をいただき、施設の餅つき大会を行いました。ついた餅はご利用者でおいしくいただきました。



こひつじ幼稚園の園児から、利用者への首飾りやお花のプレゼントと、歌や踊りも披露していただき、一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。



植田小学校の児童から、自分で栽培し収穫した「サツマイモ」をいただき、早速、芋ようかんなどにしてみんなで食べたところ、「甘くておいしい」と好評でした。

## 平寿苑

樽見内保育園の園児から、秋に収穫した「サツマイモ」をいただき、焼きイモやきんつばなどにご利用者に振る舞われ、味も格別と大変好評でした。



## 雄水苑



雄物川北小学校の五年生児童から、自分たちが育てた「お米」のプレゼントと、よきこいの披露などで楽しいひと時を過ごしました。



むつみ保育園の園児から、肩たたきのプレゼントや、園児とご利用者による玉入れ競争も行われ、中には涙を流して喜ぶ方もありました。

今回は一部のみのご紹介となりましたが、社会福祉協議会は、寄付金や寄贈品のほか、皆さまから会費等もいただいております。改めて、地域の多くの方々から支えられながら活動できていることに感謝する次第です。

私たちは、社会福祉協議会への「期待」や「願い」も同時にいただいていることを認識し、期待に応えることはもちろん、地域の「想い」を形にしていかなければなりません。

『誰もが安心して暮らすことのできる地域づくり』の実現に向けて努めて参りますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

## お互いの理解と協力

# 輪気愛相スポーツ交流会／ふれあいフェスティバル

障がい者とボランティアが主体となった「輪気愛相スポーツ交流会」と「ふれあいフェスティバル」が、それぞれ10月28日(日)に栄公民館、12月1日(土)に浅舞公民館において行われました。

スポーツ交流会では、お互い協力しながら数々の競技に奮闘し、フェスティバルでは各催し物の運営スタッフやアトラクションの発表者などとして会場を盛り上げていただきました。

毎年開催している事業ですが、今回は学生ボランティアが例年以上に多く、学校で行う福祉教育の充実と子どもたちの福祉に対する高い意識が伺われました。

障がい者とボランティア。一方通行の関係ではない、お互いが主役の“支えあい”を地域に広めていければと思います。



山内唄おう踊ろう会(平均年齢80歳以上!)にアンコールの声も(ふれあいフェスティバル)

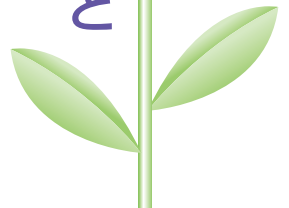


約150名が軽スポーツで交流を深めました(スポーツ交流会)



社協のどきどき

地域のどきどき



## 増田 大事なことは地域の“つながり” 徘徊見守り訓練

10月17日(水)、増田地域で行われた「徘徊見守り訓練」に、福祉協力員への協力要請があり、協力員2名が参加しました。

当日の役割は、徘徊役の方へ声をかける役でしたが、参加した協力員は「声をかけることは勇気がある。声をかけやすくするには、普段から交流のある地域づくりが大切だと思う」と、隣近所の希薄化が叫ばれる中で、改めて地域のつながりの重要性を認識されていました。

今回の訓練への参加を契機に「声をかけやすい地域、安心して暮らせる地域＝つながりのある地域」に向け、地域と積極的に関わりながら、特性を活かした「住民支えあいマップ」や「いきいきサロン」等の活動を進めていきたいと思っています。



徘徊役の方に声をかける役を体験しました

## 平鹿 「結い」を大切にして地域の活性化を NPO法人樽見内地域資源保全委員会



「高齢者宅に鉢植えをお届け」地域に根差した活動を行っています

NPO法人樽見内地域資源保全委員会は、環境保全や地域の交流、活性化を目的とした国の事業として、平成十九年に組織されました。花いっぱい運動やゴミ拾いなどの環境保全活動のほか、地元保育園児と一緒にサツマイモを栽培して地域の高齢者施設へ寄贈したり、高齢者世帯へ自作の鉢植えのプレゼントと声掛け、高齢者と園児との行事へのお手伝いなど、地域の交流に一役買われています。

最近では、地元の小学校と一緒に米づくりやひまわり油づくりも行っており、いきいきと活動する子どもたちの様子に大変手応えを感じていました。

「これからも、交流を大切にしながら地域に根差した活動を進めていきたい」と意気込みを語ってくれました。

地域の話題

## 金沢地区昼食交流会 (金沢地区福祉協力員会)



▲太鼓のほかフォークダンスやゲームなどで交流しました

▶園児から参加者へのプレゼント。当日の“思い出”写真も

11月6日(火)、金沢保育園において「金沢地区昼食会」が開催されました。この昼食会は、地区の民生委員の協力のもと、金沢地区福祉協力員会が主催したもので、お一人暮らしの高齢者と保育園児が交流しました。

参加者からは、「孫やひ孫世代との交流は新鮮」「自分の子育て期を思い出した」などの感想のほか、「足腰が痛むが、民生委員や福祉協力員がいつもよくしてくれるので参加した」との声もあり、日頃の地域の支えあいが進んでいる地域だと感じました。



また、保育園は地域の行事への参加や交流を積極的に行っており、この昼食会にも、毎年、全面的なご協力をいただいています。今後も、世代をつなぐ交流を続けていく予定です。

## 高齢者世帯への訪問活動

昼川地区では、毎年12月に消防団と民生委員、福祉協力員が協働し、お一人暮らしの高齢者と高齢者世帯への訪問活動を行っています。

この活動は、昼川地区小ネットワーク会議で出された「地区の高齢者が元気に年を越してほしい」との想いから始められたもので、今年度は12月9日(日)に行われました。

今では、地区の年末恒例の活動として、高齢者の方々も温かく迎えてくださるようになり、「人と話すと元気が出る」「心配して来てくれてありがとう」と感謝の言葉もいただきました。

今後も、みんなが安心して暮らせる地域づくりをめざし、住民同士の支えあい活動を進めていきます。



降り続く雪の中、12世帯に訪問しました

## 雄物川北小学校



▲よさこいで参加していただいた皆さんをおもてなし

▶商店街の様子や地域の移り変わりを表で表しました

福祉教育活動推進校である雄物川北小学校の五年生(四十七名)が、雄物川地域が「えがおの町」となった頃の話を聞くため、昨年の夏、当時の様子に詳しい地域の方々へ「えがおインタビュー」を行いました。児童は、インタビューから「当時と今との違い」や「地域への想い」「今の高齢者が町づくりの中心となっていた」ことなどに気づいたほか、時には趣味活動にも参加させていただくなど、地域との交流を深めました。

また、高齢者から「子どもたちとふれあいたい」との声もたくさんあり、協力してくださったみなさんをご招待し、十一月に「えがおインタビュー報告会&お茶会祭」を開催しました。地域から約五〇名が参加し、大きく見やすいよう工夫した表による報告のほか、児童のよさこいの披露などで会場はたくさんのお「えがお」でいっぱいとなりました。



# Pick Up!! わたしの社協

喜ばれる売り場づくりと明るい接客  
そして笑顔あふれる「オアシス」に

## 大森福祉センター売店



備前真知子(左)、佐藤真由美(中央)、佐藤幸子(右)



私たちが勤務する「売店」は、保健・医療・福祉が一体となった「健康の丘おもり」の中核である「市立大森病院」内にあります。

お客様の声に耳を傾け、必要とされる商品をすぐに手配したり、定期的なチラシ配布により季節の商品や新商品などのホットな情報をお届けしているほか、買い物がしやすいよう店内のレイアウトを改善したりと、お客様が気持ちよくご利用いただけるように努めています。

また、来店が困難な入院されている方への商品の配達や、地域の方々が集う語り・憩いの場“オアシス”となるなど、社協ならではのサービスを提供しています。

今後もより良いサービスはもちろんのこと、「売店に行けば何かある」と期待していただけるよう、笑顔とフットワークの良さで、お客様のニーズにお応えしたいと思いますので、ご来店をお待ちしております。

- 事業所名…大森福祉センター売店
- 所在地…横手市大森町字菅生田245-205(市立大森病院内)
- 電話…26-2141(内線 5116) ■ F A X…26-4547
- 営業日…毎日(12/31~1/3を除く)
- 営業時間…8:30~18:00(土日祝日 8:30~12:30)

## 作品お待ちしております! 募集要項

次号の  
テーマ

### 「出会い」

新生活が始まる春の到来にふさわしい「出会い」をテーマにした川柳を募集します。

- 【応募資格】 市内在住の方どなたでも
- 【応募方法】 作品(お1人様2点まで)氏名、連絡先(可能な範囲で)をご記入の上、ハガキやFAX、メールなどでご応募ください(様式は問いません)。なお、応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- 締切は2月28日(木)です。
- 【応募先】 横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課「ふくし川柳係」  
〒013-0072 横手市卸町5-10  
FAX : 36-5388  
e-mail : tiiki@yokote-shakyo.jp
- 【広報掲載】 寄せられた作品の中から数点を選考させていただきます、作品、氏名等を掲載いたします。
- 【その他】 募集川柳は原則5・7・5音とします。ただし、多少の字余りや字足らずは構いません。

- 一、願うのは 何処も賑やか 子等の声  
柴田 文 生さん/平鹿
- 一、願いごと 寄り添い暮らし 続くよに  
ペンネーム R・Oさん/雄物川
- 一、毎日が 平凡それが 願いです  
山本 栄さん/十文字
- 一、老人車に 願い託して イベントえ  
最上 ヨ ネさん/雄水苑

「願い」をテーマに、たくさんの方が作品が寄せられました。その中から、数点ご紹介させていただきます。(順不同)

福祉を詠んで心豊かに  
ふくし川柳

横の手を  
つないでさず(ふく)く  
我が横手

ご応募ありがとうございました

# お知らせ掲示板

## 横手市「かいご教室」の開催

### 1月開催

～在宅で快適に介護するためのワンポイント

アドバイスと認知症への理解～

- ◆開催日時 1月30日(水) 10:00～12:00
- ◆開催場所 雄物川コミュニティセンター
- ◆内容 「かいごの実技」総集編

### 2月開催

～季節の介護食～

- ◆開催日時 2月27日(水) 10:30～13:30
- ◆開催場所 栄公民館(さかえ館)
- ◆内容 「介護食のつくり方」(調理実習)
- ◆参加定数 20名程度まで
- ◆持ち物 エプロン

### 3月開催

～施設見学とサービス内容や特徴～

- ◆開催日時 3月12日(火) 10:00～12:00
- ◆開催場所 特別養護老人ホーム「平寿苑」
- ◆内容 「介護保険事業所・特別養護老人ホームを知ろう」



- ◆参加費 無料
- ◆申し込み 最寄りの福祉センターへ各開催日の2日前までお申し込みください。

#### 問合せ先

横手市社協本部地域福祉課  
(☎36-5377)



ありがとうございました  
(平成24年11月1日～11月30日受付分)

#### 【横手福祉センター受付】

- 谷口 恵美子 様 (石 町)
- 平鹿総合病院 様
- 村上 陸 様 (寿 町)
- 安 藤 詔 子 様 (上真山)
- 斉 藤 フ ミ 様 (大屋新町)
- 佐々木 有紀 様 (寿 町)
- 佐藤 美保子 様 (雄物川・常野)
- 佐藤 良子 様 (南 町)
- 鈴木 由紀子 様 (平鹿・浅舞)
- 堀 江 茂 寿 様 (間明田)
- 横手市連合婦人会 様
- とっぴんぱらりのプー 様
- 横手歌謡会 様
- 黒川三ツ葉会 様

#### 【平鹿福祉センター受付】

- よねや浅舞店 様

#### 【雄物川福祉センター受付】

- 佐々木 邦和 様 (矢 神)
- 佐 藤 清 様 (八 卦)
- 坪 井 幸 子 様 (新 丁)

※広報発行回数に関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。  
※「善意」の受付は、横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

#### 【山内福祉センター受付】

- 高 橋 孝 子 様 (新岩瀬)
- 高 橋 亮 子 様 (南相野々)
- 宝扇流 様
- 山内婦人会 様

#### 【大雄福祉センター受付】

- 鈴 木 昌 雄 様 (根田谷地)

#### 【平寿苑受付】

- 樽見内保育園 様
- NPO法人樽見内地域資源保全委員会 様
- 秋田県医薬品配置協会 様

- 柴 田 ヒ デ 様 (吉 田)
- 傾聴ボランティアささやき 様

#### 【雄水苑受付】

- 沼館婦人会 様
- 雄物川北小学校5年生 様
- 傾聴ボランティアひまわり 様
- むつみ保育園 様

#### 【憩寿園受付】

- 十字第二小学校 様
- 傾聴ボランティアささやき 様
- こひつじ幼稚園 様



堀江茂寿様  
デイサービス康寿館でハーモニカ演奏を披露(横手福祉センター)



宝扇流 様  
ミニデイサービスで踊りを披露(山内福祉センター)



# ふくしな 人たち



## 下田 三千男さん(大雄)

笑顔を見るのが  
生きがいです

ボランティアとして各地域のいきいきサロンや高齢者施設で相撲甚句を披露されている下田さん。平成12年から加入している秋田相撲甚句会の会員の皆さんと一緒に、力士が着るような浴衣などをまとい、のぼりを立てて雰囲気をつくり、自身が作詞した「大雄甚句」や即興でつくった甚句などを披露して、観客の皆さんを楽しませています。

下田さんは、以前、招待された結婚式で相撲甚句による新郎新婦の馴れ初めの紹介に感動したことがきっかけで相撲甚句を始められ、現在では様々な行事や発表会等でも披露されるなど、その道の第一人者としてご活躍されています。

施設を訪問する際には近所の方も誘って聞いていただくなど、みんなに楽しんでほしい、喜んでほしいとの想いが伝わってきます。サロンや施設のご利用者には、下田さんの“ファン”も多く、毎回、来ていただくのを楽しみにされています。



相撲甚句のほか、歌やちんどん屋などたくさんの芸能をお持ちの下田さん。80歳となった今でも精力的に活動されています。

取材の際には「みんなに喜んでもらって拍手をいただくことが一番うれしい。依頼があればどこへでも駆けつけて披露します。」と笑顔でお話してくださいました。

## 本年もよろしくお願ひいたします

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377  
横手福祉センター TEL.33-8668  
増田福祉センター TEL.45-4848  
平鹿福祉センター TEL.24-3283

雄物川福祉センター TEL.56-2072  
大森福祉センター TEL.26-3274  
十文字福祉センター TEL.42-5858  
山内福祉センター TEL.53-3009

大雄福祉センター TEL.52-3311  
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011  
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561  
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510

この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388

E-mail syakyou5@agata.plala.or.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>